

# ISO 14001 国際規格原案 (DIS) について知っておくべき5つのポイント



# 環境マネジメントの次なる進化に備えましょう

ISO 14001、世界で最も広く採用されている環境マネジメントシステム(EMS)規格が改訂されます。国際規格原案(DIS)では、気候変動、生物多様性の損失、生態系のレジリエンスに関する緊急性の高まりを反映した重要な更新が導入されています。規格の基本構造は維持されますが、主要な変更点は、期待感の変化を示し、組織がサステナビリティを業務運営により深く組み込む機会となるものです。

今知っておくべきDISの5つの最新情報をご紹介します：

## 1. 環境条件をより重視

改訂された規格では、気候変動、生物多様性、生態系の健全性などの環境条件を、リスクとして、また組織が影響を与える可能性のある要因として特定し、考慮するためのより明確な期待事項が導入されています。



## 2. 変更管理のための新条項

箇条 6.3 では、EMS に影響を与える可能性のある変更を計画し、管理するための正式な要件事項が導入されています。これは、変更が意図的なものであり、評価され、環境目標と整合していることを確保することを目的としています。



### 3. 言語の現代化と明確化

他の ISO 規格との整合性を高めるため、用語が刷新されました。例えば、

- 「コンプライアンス義務を満たす」は「コンプライアンス義務を適合する」に変更
- 「文書化された情報を維持する」は「文書化された情報として利用可能にする」に変更
- 「外部委託プロセス」は「外部から提供されるプロセス、製品、またはサービス」に変更

これらの編集上の更新により、新たな要求事項は追加されませんが、組織は自社のシステムおよび文書にこれらの変更を反映する必要があります。



### 4. 箇条6.1を明確にするため、再構成

計画策定は、より明確な条項に分割されました。箇条6.1.4はリスク及び機会の特定に焦点を当て、箇条6.1.5は関連する行動の計画について規定しています。旧来の一般的な改善について規定していた 箇条10.1 は削除され、その意図は他の条項に統合されました。



### 5. サステナビリティとのより強固なつながり

改訂された規格は、より広範なサステナビリティの目標との整合性を強化しています。トップマネジメントは、環境パフォーマンスの推進においてより目に見える役割を果たすことが期待されています。利害関係者の期待、特に気候変動や生物多様性に関する期待がより重視されています。



## 改訂版に向けた準備

DISの要求事項に整合させる作業を開始することをお勧めいたします。早めに対応すれば問題なく、移行をより確実に管理することができます。

## LRQAの次のステップ

### お客様の移行を支援

- LRQAの**Transition Club**にご登録いただくと、ISO 14001、9001、45001に関する最新情報を定期的に受け取ることができ、EMSの改訂を支援する早期の知見、ツール、実践的なガイダンスにアクセスできます。
- **ISO 14001:2026 移行トレーニング**をご検討ください。自社のチームが変更内容を理解し、実施する支援をいたします。
- **詳しくはLRQAの専門家までお問い合わせください。**

## LRQA について

LRQAは、審査、アドバイザリー、検査、サイバーセキュリティサービスにおける数十年にわたる比類のない専門知識を結集した、世界有数の保証パートナーです。データ主導の洞察力を基盤として、お客様の最大のビジネス課題の解決を支援しています。

150カ国以上で5,000人以上のスタッフが活動するLRQAは、受賞歴のあるコンプライアンス、サプライチェーン、サイバーセキュリティ、ESGの専門家が、ほぼすべての業種にわたる60,000人以上のクライアントが事業を展開するあらゆる場所で、リスクの予測、軽減、管理を支援しています。

LRQAは、あらゆる業務において、従業員、お客様、地域社会、そして地球環境のより良い未来の実現に尽力しています。

## お問い合わせ

詳細については、[lrqa.com/ja-jp/](https://lrqa.com/ja-jp/) をご覧ください。



LRQA リミテッド  
〒220-6010  
横浜市西区みなとみらい2-3-1  
クイーンズタワーA10階